

令和2年2月4日

学校法人本田学園  
山口調理製菓専門学校  
校長 西村 悟 殿

## 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会  
委員長 喜志多 正範

令和元年度（2019年度）学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

### 記

- 1 開催日時 令和2年1月27日 午後3時～午後5時
- 2 場所 山口調理製菓専門学校 レストラン実習室
- 3 参加者 10名  
学校関係者評価委員  
喜志多 正範 教育関係 高校教員  
吉山 宏美 業界関係 レストラン：オーナーシェフ  
澤野 惇史 卒業生 ホテル：料理長  
赤塚 大祐 卒業生 飲食店：店長  
学校教員・事務員等  
本田 容子 理事長  
西村 悟 校長  
宇土 育美 総務主任  
稲田 和恵 教務主任  
守永 郁子 広報主任  
青木 千佳子 事務職員
- 4 実施方法 学校自己評価報告書を基に、重点目標及び（1）～（10）の評価項目ごとに説明と取り組みを聞き評価を行った。  
なお、評価項目の評価は、以下の5段階（A～E）で行った。  
《 A…適切 B…ほぼ適切 C…どちらとも言えない D…やや不適切 E…不適切》

#### 4-1 重点目標について

学校は、重点目標を以下ア～ウのように定め、教育改善を着実に進めている。

ア 「一人ひとりに心が通う教育」の実現

- ・個々の特性を把握し、臨機に対応していく。
- ・勇気づけ励ます教育の理念を教職員全体で共有する。

イ 教育内容の充実

- ・教育計画（カリキュラム）が時代の変化・社会（地域・関連業界等）のニーズ・学生のニーズに対応しているか不断の検証をすすめていく。そのための情報収集を積極的にすすめる。

ウ 確かな進路指導

- ・系統的な進路指導を全体指導・個別指導を取り混ぜながら進めていく。

大きな社会の変化（少子高齢化等）とともに学生の学習意識・勤労意識・職業観などの価値観も多様化している。学校もこのような変化に係る情報収集・分析を的確にすすめ、時代（社会）の変化に機敏に対応しなければならない。校訓「礼節 努力 創造」に示されている普遍的な教育観を大切にしつつ、変化を恐れない精神「不易流行」を旨に学校教育の改善に、引き続き取り組んでもらいたい。

#### 4-2 評価結果・評価理由・助言について

(1) 教育理念・目的・育成人材像について

- ①学校の理念・目的・育成人材像は明確に定められているか。
- ②①は学生・保護者等に周知されているか。
- ③①は学生・保護者・調理製菓業界等の社会的ニーズに適合しているか。

①～③の小観点を踏まえての総合評価（A～E より当てはまる評価を選択し、右欄に記入）

A…適切 B…ほぼ適切 C…どちらとも言えない D…やや不適切 E…不適切	記入欄 A
評価理由及び助言等 ★学校が目指しているものは、学生必携等に明確に定められ、入学説明会・オリエンテーション・日常の指導等で周知・徹底されている。 ★今後とも時代（社会）の変化に機敏に対応し、学生・業界のニーズに対応してもらいたい。 ★コミュニケーションを密にし、情報収集（アンケート調査等）の努力を継続してほしい。	

(2) 学校運営について

- ①運営方針・事業計画・予算を適正な手続きで決定しているか。
- ②運営方針・事業計画を文書化し、教職員に周知・徹底しているか。
- ③予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。
- ④学校運営組織を整備し、適正に運営しているか。
- ⑤意志決定システムを整備し、適正に運用しているか。

①～⑤の小観点を踏まえての総合評価（A～E より当てはまる評価を選択し、右欄に記入）

A…適切 B…ほぼ適切 C…どちらとも言えない D…やや不適切 E…不適切	記入欄 B
<p>評価理由及び助言等</p> <p>★方針・計画・運営組織及びシステムについては明確に定められ、運用されている。</p> <p>★これらの運用が効率的に行われていくためには、財政の安定（効果的・計画的な予算作成・執行）が基となる。そのためにも、学生募集推進、効率的な経営（コストカット等）など教職員が一致団結して取り組んでいてもらいたい。</p>	

(3) 教育活動について

- ①教育理念・目的に沿った教育課程の編成・実施方針を定めているか。
- ②教育課程は教職員によって、的確に実施されているか。
- ③シラバスの作成などによって、授業内容・計画・目標及び評価基準等は明示されているか。
- ④成績評価、単位認定、進級・卒業判定の基準を明確に定め、適正に運用しているか。
- ⑤授業評価の実施体制を整備し、実施しているか。
- ⑥⑤を通じて、カリキュラム・授業改善は適切にすすめられているか。
- ⑦教育目標の実現に向けた教職員は確保されているか。
- ⑧教職員の資質（専門性・指導力等）向上に向けた研修が適切に計画・実施されているか。

①～⑧の小観点を踏まえての総合評価（A～E より当てはまる評価を選択し、右欄に記入）

A…適切 B…ほぼ適切 C…どちらとも言えない D…やや不適切 E…不適切	記入欄 B
<p>評価理由及び助言等</p> <p>★教育課程は明確に定められ、編成・実施されている。</p> <p>★各教科・科目はシラバスに基づき適切に実施され、評価も適正に実施されている。</p> <p>★教職員の資質は優れているが、多様な特性を有する学生への対応等の研修を進め、より一層の教育力の向上・充実を図ってもらいたい。</p>	

(4) 学修成果について

- ①就職率を向上させるための施策は図られているか。
- ②退学者を減らすための施策は図られているか。
- ③学生が身につけるべき資質・能力（知識・技能等）は明確化されているか。
- ④③の向上にむけて、その実現度合いを把握し、教育活動等の改善をすすめているか。
- ⑤卒業生・在校生の社会的活躍及び社会的（就職先等での）評価を把握しているか。
- ⑥⑤を踏まえて、教育活動等の改善を進めているか。

①～⑥の小観点を踏まえての総合評価（A～Eより当てはまる評価を選択し、右欄に記入）

A…適切 B…ほぼ適切 C…どちらとも言えない D…やや不適切 E…不適切	記入欄 A
<p>評価理由及び助言等</p> <p>★入学の早期から個別の教育（修学・就職等）相談を行い、学生理解を深めている。</p> <p>★学則・教務規定・シラバス等に習得目標等を明示するとともに、個別の教育場面で指導の徹底が図られている。また、適宜、指導計画を見直し修正を図っている。今後も、この姿勢を堅持してもらいたい。</p> <p>★実習先・就職先等とのコミュニケーションが的確に行われている。得られた情報をもとに教育活動の修正等が進められている。</p> <p>★普遍的な価値を持つ教育方針（礼節など）を守りつつ、多様（年齢・家庭環境等）な学生のニーズに応えた柔軟な教育活動を展開してもらいたい。</p>	

(5) 学生支援について

- ①就職等進路決定に対する支援体制は整っているか。
- ②学生の心身の健康維持・管理は適正に行われているか。
- ③学生への経済支援体制は整っているか。
- ④学生の課外活動に対する支援体制は整備されているか。
- ⑤保護者との連携は適切に行われているか。
- ⑥卒業生への支援体制は整っているか。

①～⑥の小観点を踏まえての総合評価（A～Eより当てはまる評価を選択し、右欄に記入）

A…適切 B…ほぼ適切 C…どちらとも言えない D…やや不適切 E…不適切	記入欄 B
<p>評価理由及び助言等</p> <p>★進路意識（個々の学生の希望も含め）の多様化もあり、就職率100%の実現は簡単ではないが、全体指導・個別指導を積み重ね、個々の希望（満足感）の実現を図ってほしい。</p> <p>★学生・保護者等とのコミュニケーションが適切に行われている。価値観・規範意識の多様化や学生の経済状況の厳しさなど、指導の困難さが高まっている。粘り強く学生の支援を継続してもらいたい。</p> <p>★卒業生の状況把握・支援については、同窓会や業界関係者等との連携協力・コミュニケーションを密（ネットワークの強化）にし、きめ細やかなフォローに努めてもらいたい。</p>	

(6) 教育環境について

- ①施設・設備はカリキュラムに対応した適正なものになっているか。
- ②施設・設備は安全・衛生面で適正なものになっているか。
- ③企業等の連携により、実習・インターンシップの場等の教育体制は整備されているか。
- ④防災・安全管理体制を整備し、適切に運営しているか。

①～④の小観点を踏まえての総合評価（A～Eより当てはまる評価を選択し、右欄に記入）

A…適切 B…ほぼ適切 C…どちらとも言えない D…やや不適切 E…不適切	記入欄 A
<p>評価理由及び助言等</p> <p>★施設・設備は更新も速やかに行われており、カリキュラムへの対応・安全・衛生面でも適正なものになっている。清掃が徹底されており、衛生的で美しい環境が保たれている。</p> <p>★関連業界の協力を得て、実習・インターンシップの体制も整っている。</p> <p>★防火・避難訓練や施設の安全・衛生点検を適切に実施しており、安全管理体制は整備されている。</p> <p>★開校20年になり、更新期を迎える施設・設備も多い。的確な更新を行い、教育環境維持に努めてもらいたい。</p>	

(7) 学生の受け入れ募集について

- ①入学者の募集活動を適正かつ効果的に実施しているか。
- ②選考時期・選考基準・選考方法は適切なものになっているか。
- ③校納金（入学金・諸経費・学費など）等は適切か。

①～③の小観点を踏まえての総合評価（A～Eより当てはまる評価を選択し、右欄に記入）

A…適切 B…ほぼ適切 C…どちらとも言えない D…やや不適切 E…不適切	記入欄 B
<p>評価理由及び助言等</p> <p>★募集活動及び入学選考は適正・適切に行われているが、出願者数の増減（結果）を見ると効果的な募集となるよう一層の努力が必要である。経済状況・若年人口の減少等の社会環境は厳しいものがあるが、学校の魅力発信に努めてもらいたい。</p> <p>★校納金は長年低額に維持されてきているが、消費税の増税や物価上昇も考慮し、検討の必要がある。教育の質の低下につながらないようにすることも肝要である。</p>	

(8) 法令等の遵守について

- ①適正な学校運営を行うに当たり、法令や学校設置基準を遵守しているか。
- ②個人情報の保護のための対策は適正に講じられているか。
- ③学校自己評価を実施・公表し、学校改善をすすめているか。
- ④学校関係者評価を実施・公表し、学校改善をすすめているか。

①～④の小観点を踏まえての総合評価（A～Eより当てはまる評価を選択し、右欄に記入）

A…適切 B…ほぼ適切 C…どちらとも言えない D…やや不適切 E…不適切	記入欄 A
<p>評価理由及び助言等</p> <p>★学校教育法等の関係法令については、これを厳格に遵守し、法令の改正等にも迅速に対応している。個人情報保護にあたっては規定を定め、学生・保護者に周知し、この遵守に努めている。</p> <p>★学校評価についても、法令に従い着実に実施している。</p> <p>★学校評価は、「評価のための評価」に終わることなく、確かな学校改善につなげてほしい。</p>	

(9) 社会貢献・地域貢献について

- ①学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。
- ②学生・職員によるボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。

①～②の小観点を踏まえての総合評価（A～E より当てはまる評価を選択し、右欄に記入）

A…適切 B…ほぼ適切 C…どちらとも言えない D…やや不適切 E…不適切	記入欄 A
評価理由及び助言等 ★出前事業・施設提供などの連携授業、料理教室、地域イベントへの協力・参加など学校の持つ物的・人的資源をフルに活用して、社会貢献・地域貢献が進められている。 ★学生の社会的自己有用観を高めるためにも、機を選びながら、ボランティア活動への積極的な取り組みを期待する。	

(10) 財務（関連情報はHPに公開）について

- ①学校及び法人運営の中長期的な財政基盤は安定しているか。
- ②財政について、法律等に則り適正に監査が実施されているか。
- ③財務情報は適切に公開されているか。

①～③の小観点を踏まえての総合評価（A～E より当てはまる評価を選択し、右欄に記入）

A…適切 B…ほぼ適切 C…どちらとも言えない D…やや不適切 E…不適切	記入欄 B
評価理由及び助言等 ★財務は的確に行われており、全く問題はない。情報公開も適切に行われている。 ★財政基盤の安定のためには、学生募集の適正化が必須条件である。社会情勢に的確に対応し、精力的な広報活動（方法の工夫も含め）を推進しなければならない。	